



三条市
SANJO CITY

三条市経済ビジョン
よくつくる、よくいきる

～豊かにいきいきと働き、技術力を基軸に時代とともに進化し続けるものづくりのまち～

令和5年1月

三条市

1. ビジョンの位置付け

市の最上位計画である三条市総合計画との整合を図りつつ、ものづくりのまちとしての持続的発展に向けて、その推進力を高める観点から、地域経済を担う各主体が共に歩みを進めるための指針となる共通のビジョンや戦略等を示すもの

2. 趣旨

課題を共有し、

- 統計データ等により、当市の産業構造や企業構造、さらには企業の労働生産性や賃金水準といった地域経済の現状や課題を客観的に明らかにし、それらを地域経済を担う産学官の各主体で共有

協力して共通のゴールと道筋を描き、

- 課題を共有した上で、この地域が目指すべきものづくりのまちの姿などを規定するビジョンとその実現に向けた戦略等を産学官の協創により策定

皆でゴールを目指すこと

- 産学官によるプロジェクトの実行体制を規定し、ビジョンの実現に向けたプロジェクトの実行性と発展可能性を担保

3. 計画期間

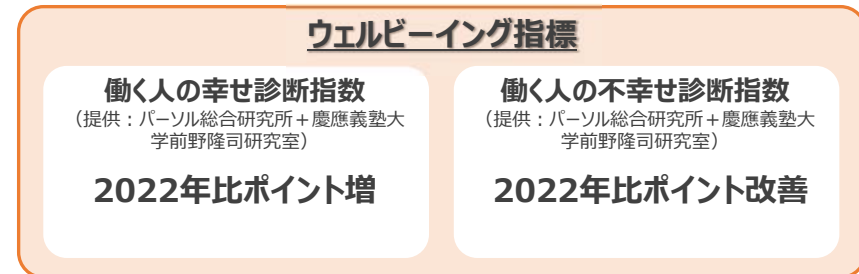
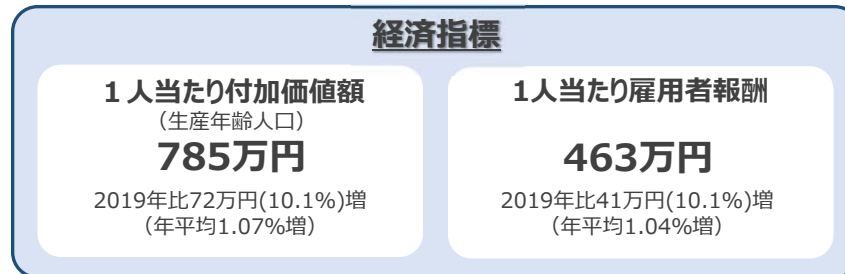
三条市総合計画に合わせ、
2023～2028年度（6年間）を計画期間とする。

ビジョン～目指す姿～

よくつくる、よくいきる

～豊かにいきいきと働き、技術力を基軸に時代とともに進化し続けるものづくりのまち～

2028年度に目指すゴール (K G I)



※ 1人当たり付加価値額については、今後の人口減少推計を踏まえ、直近(統計上最新の2019年)の三条市の経済規模(市内総生産)約3,800億円を今後も維持するために必要な1人当たり付加価値額を算出し、設定したもの

※ また、1人当たり雇用者報酬については、1人当たり付加価値額に、直近の統計データを参考に労働分配率(59%)を掛けたもの

戦略のコンセプト

生産性の向上により得られた原資で
人への投資(賃金、人材育成、職場環境の改善など)を強化し、次なる成長を促進

“不易流行”のものづくりによる生産性向上の実現

ものづくりのまちのアイデンティティや通底する守るべき価値観を核に持ちながらも、デジタル化やDX化といった時代の変化にも適応し、ものづくりの高度化、効率化を図ることにより、労働生産性の向上を実現

持続的成長のためのウェルビーイングの実現

「ウェルビーイング」を目指すことが目的であり、経済成長のエンジン(手段)でもあるという考えの下、その実現に向けて多様な人材が集まり、成長し、活躍できる環境づくりを推進



多様な人材が活躍できる
環境づくりが更なる労働生産性の向上に寄与

本ビジョンにより目指すまちの将来イメージ

1

持続的発展のための土台

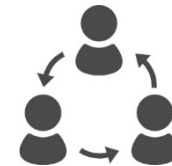
企業の個性を尊重しつつ、経営規模の拡大や業務提携などを通じて、技術の発展、生産性の向上、良質な雇用労働環境の提供等が行われ、地域経済の持続的発展のための土台が形成されている。



2

多様な人材の活躍、チャレンジ

良質な雇用労働環境が提供され、多様な人材が集まり、活躍し、常に新たなチャレンジが行われている。



3

三条のものづくり

鍛冶や鍛冶の歴史を汲む金属加工等の三条ならではの産業が、時代の変化に対応し、新たな需要の取り込みや価値の創出などを図りながら、進化を続けている。

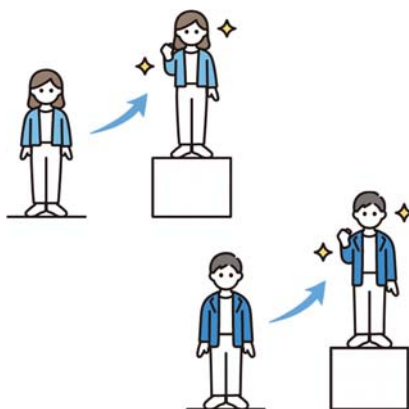


ビジョンの実現に向けた4つの戦略（注力領域）

戦略のスコープ) **ウェルビーイング※の実現を通じて地場産業の未来を担う人材の確保を図り、付加価値の増大を図っていく。**

※ ウェルビーイング

一人一人が、経済的豊かさだけでなく、社会的、精神的、身体的にも良好な状態で働ける雇用労働環境、すなわちウェルビーイングな雇用労働環境の整備を図り、それが人材の確保と幸福度の高い従業員による高い仕事のパフォーマンス、生産性の向上につながり、それが企業業績の向上につながり、さらには地域経済と三条市のアイデンティティであるものづくり産業を持続可能なものとするにつなげていく、このような「従業員」「企業」「地域経済」にわたる三方よしの好循環構造の実現を、三条市では商工業の振興におけるウェルビーイング戦略と定義する。



【戦略1】ものづくり産業の高付加価値化と新事業創出

国内需要の縮小等を見据え、この地域の企業が有する高度かつ専門的で多様な技術の可能性を活かした付加価値の向上を推進

1. B to B企業の付加価値向上
2. B to C企業の付加価値向上
3. 伝統的技術分野の稼ぐ力、経営力の向上

【戦略2】生産性向上の推進

生産年齢人口の減少を補い、一人当たりの付加価値額を高めていくため、デジタル化の推進や企業規模の拡大を推進

1. デジタル化の推進
2. 経営資源の集約化（統合、再編）の推進

【戦略3】産業基盤の安定化、強靱化

従業員、生産設備、ブランドなど、有形無形の貴重な経営資源を有する企業が後継者不在などを理由に廃業し、伝統技術や産業基盤等が失われることがないように、第三者承継なども含めた戦略的な事業承継を促進

1. 事業承継の推進
2. 経営資源の集約化（統合、再編）の推進

【戦略4】未来志向の人材戦略（人材の確保・育成）

地場産業の人手不足の顕在化のほか、今後の人口減少により働き手の確保が更に困難になっていくと見込まれることなどを踏まえ、多様な人材が活躍できる環境づくり等を促進し、地場産業の次代を担う人材の確保、育成を促進

1. 雇用労働環境の改善
2. 採用力強化に向けた情報発信、プロモーション強化
3. 高度人材の確保、育成

参考) 経済ビジョン検討メンバー

三條市未来経済協創タスクフォース

(敬称略・五十音順)

氏名	所属等
大沼直也	株式会社スノーピーク 執行役員 商品本部長
斎藤直人	シマト工業株式会社 代表取締役社長
渋谷恒夫	三條信用金庫 地域経済研究所 常勤理事
島田哲雄	三條市立大学 学部長
曾根忠幸	株式会社タダフサ 代表取締役社長
中村純	株式会社三條機械製作所 本社管理部長
長谷川直哉	株式会社マルチ長谷川工作所 代表取締役社長

雇用競争力強化ワーキンググループ

(敬称略・五十音順)

氏名	所属等
岡部美咲	株式会社サカタ製作所 総務経理課主任
柏崎亮太	三條市労働環境改善・雇用競争力強化コンサルタント
金子薫	カネコ総業株式会社 代表取締役社長
小林雅敏	株式会社コロナ 総務部次長
齋藤一成	株式会社マルサ 代表取締役社長
高橋竜也	株式会社高儀 代表取締役社長
永井元章	三條市立大学 地域連携キャリアセンター長